



「三郷支部社協」って…？

目的：三郷地域の社会福祉の向上と明るい住みよい地域づくりのために、地域の実態に合った福祉活動を行っています。

構成：三郷地域内全14地区の地区社協、民生児童委員協議会、三郷公民館、ボランティア協議会、シニアクラブ、身体障害者福祉協会、手をつなぐ育成会、子ども会育成会連絡協議会、三郷中PTA、三郷小PTA、三郷中、三郷小、赤十字奉仕団、(福)幸泉園、NPO法人子育て支援ぱおぱお、NPO法人アルウィズ、知識経験者

三郷支部社協の主な事業

各地区

福祉員説明会

視察研修

花植え事業

災害住民支え合いマップ

研修会

高齢者安心訪問

第32回みさとふれあいマーケット 開催！！

～安曇野市20周年 地域をひとつに 三郷をひとつに～

令和7年11月30日(日)みさとふれあいマーケットが開催されました。前日から多くの住民の皆様に参加として準備にご協力いただき、当日は様々な福祉事業所や地元企業、ボランティア団体の皆様がマーケットを盛り上げてくださいました。バザー用品をご提供いただいた皆様、当日ボランティアをしていただいた小中学生や大人の皆様、三郷地域の様々な方のおかげで今年度も大盛況でした。この事業が、三郷がひとつになるきっかけになりますように！！

今年度のバザーの売上金489,200円は地区社協、ボランティア協議会、安曇野市社協三郷支所に配分され、地域活動に生かしていきたいと思っております。ありがとうございました！



この広報誌をはじめ支部社協の事業には、皆さまよりご協力いただいた社協会費が使われています。

福祉員ってなあに？ - about fukushiinn -

福祉員って？

各地区、隣組長さんに、隣組内の① **見守り** ② **声かけ**③ **つなぎ役**をお願いしています。三郷地域では「結いっこあづみん」という愛称がついています。



このプレートが目印だよ



「結いっこあづみん」愛称秘話

かつて、農業機械がなかった頃、人手が頼りの農作業はとても大変でした。そんな中、田植えや稲刈りを隣近所で自然と手伝ったり、手伝ってもらったり…。そんなお互いさまのやりとりのことを「結い^ゆ」とか「結いっこ^ゆ」と呼びました。

現代に「結い」の心を取り戻し、安心して暮らせる地域につなげて欲しい。そんな思いから、三郷地域の安曇野市社協福祉員の愛称は「結いっこあづみん」と名づけられました。

なんで必要なの？

ひと昔前に比べて、隣近所のお付き合いが希薄になってきています。女性も高齢者も働きにでるようになり、多くの方が地域で過ごす時間も、地域活動への参加の機会も減少しているので、ご近所同士で顔を合わせる機会があまりないかもしれません。しかし！！災害時や一人暮らしの方の状況を考えると、隣近所で助け合わないといけない時がきっとあるはず。自分が一人暮らしになって暮らす地域であるよう、今から皆で取り組みましょう！ ちなみに、昨年度三郷地域の福祉員さんにご協力いただいたアンケートでは、7割弱の方が「普段より隣近所の様子を気にかけることができた」とお答えいただきました。

アンケート結果の詳細はこちら！



今年度、福祉員の皆様1年間お疲れ様でした。プレートの引継ぎをお願いいたします。

皆さまからご協力いただいた社協会費は地区に還元をしたり、地域福祉事業の財源として活用させていただいております。

